

医工連携の新たなステージ への挑戦

～手術支援ロボットとソフトウェア医療機器の可能性を探る～

鳥取県では、これまで約10年間取り組んできた医工連携を次のステージへと進めていくため、鳥取大学医学部の「ロボット医療の先進性」、「開かれた実証フィールド」等の強みを活かし、新たな可能性を探る「とっとりメディカルバレー研究会」を開設します。

次のようなことに興味がある方は、ぜひご参加ください！

- ✓ 国産の手術支援ロボットの話題が気になり最新動向を知りたい
- ✓ ロボット本体は難しくても、周辺分野にチャンスがないか
- ✓ スマホアプリが医療機器というのはどういうことか
- ✓ AIなどのソフトウェア技術で医療分野に参入したい

参加
無料

日時 令和6年11月25日(月) 13:00～15:00

会場 鳥取大学病院 第二中央診療棟 会議室3

(米子市西町36-1 / 会場位置図 <https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/hoc/files/54844.pdf>)

オンライン同時開催

お申し込みはこちらから >>>



対象 部品製造や機器開発、ソフトウェア開発関連分野等の企業、
医療機器関連スタートアップ（鳥取県外の企業も歓迎します）

プログラム

1. 鳥取大学医学部の取組 鳥取大学医学部 古賀 敦朗 准教授
2. 基調講演 1「手術支援ロボット開発の最前線」
東京大学大学院 川嶋 健嗣 教授 (情報理工学系研究科システム情報学専攻)
基調講演 2「市場拡大が見込まれるプログラム医療機器の最新動向」
株式会社マイクロン SaMD事業部 山田 夏恵 様
3. 研究会の今後の展開 鳥取県商工労働部産業未来創造課

【主催】 鳥取県商工労働部・鳥取大学医学部

(問い合わせ先) 鳥取県商工労働部産業未来創造課 和田、岩佐

電話 0857-26-7657 メール sangyoumirai@pref.tottori.lg.jp

【講師紹介】

川嶋 健嗣 様 (東京大学大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻 教授)



1997年東京工業大学大学院博士課程修了。博士（工学）。同大学精密工学研究所助教、東京医科歯科大学生体材料工学研究所教授などを経て、2020年より現職。

2014年に、手術支援ロボット開発に関する大学発ベンチャー企業リバーフィールド株式会社を起業。

流体計測制御を基盤とした医療機器の研究開発に従事し、新しい医用システムや人間機械システムの創出を目指している。

山田 夏恵 様 (株式会社マイクロン SaMD事業部)



国内医療機器メーカー薬事部門で10年以上勤務。国内製造・海外輸入医療機器の承認/認証申請、保険申請などの薬事全般業務に従事後、ITベンチャー企業においてISO13485の取得業務を担当。マイクロンでは、医療機器の製造販売業、製造業、販売業、修理業及びQMS体制の確立支援業務に従事。

新製品の承認・認証・届出業務、厚生労働省や医薬品医療機器総合機構（PMDA）との対応も行っている。

申込方法

WEBサイトからお申込みください。
お申込みいただいた方に、オンラインセミナーのURLをお送りします。

https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=14019



締め切り

令和6年**11月22日**（金）**午後5時**まで

お問合せ

鳥取県商工労働部産業未来創造課 和田、岩佐
電話 0857-26-7657
メール sangyoumirai@pref.tottori.lg.jp

記入いただきました氏名、企業名、所属・役職、連絡先等の情報は、鳥取県と鳥取大学とが共同で管理し、医工連携関連の事業運営上の各種連絡、情報共有のために使用しますので、予めご了承ください。